

三種町、小中学校の給食に **ジュンサイ**おいしい！ジュンサイの特別メニュー
を味わう森岳小の児童（右）

三種町の全6小中学校で1日、町特産のジュンサイを使った特別メニューの給食が提供され、児童生徒が地元の旬の味を楽しんだ。町が7月1日を「じゅんさいの日」としてPRしていることにちなんだ恒例の企画。

特別メニューは、ジュンサイや鶏肉などが入った具たくさんのうどん、レシピは町学校給食センターが考案した。森岳小学校（菊谷陽子校長、114人）では、1・2年生の教室で試食会が行われた。保護者と一緒に給食を楽しんだ児童は、ぬめりのあるジュンサイを箸でつかむのに苦戦しながらも、おいしそうに味わった。

1年の末武翼さんは「ジュンサイが好きで、この時期には家族みんなで食べている。給食でも食べられて良かった」と笑顔で話した。

じゅんさいの日は、英語の「June（6月）」が「じゅん」、「31」が「さい」と読めることから、本来は6月31日にしたかったが存在しないため、7月1日となった。

（加藤大輝）



（令和8年7月2日（木）秋田魁新聞より一部抜粋）